

夢に向かってチャレンジ!

聴覚に障害のある子どもたちへの教育を専門とする

県下で唯一の学校です



- ★「ことば」と「こころ」が豊かに育つ学校
- ★自分の思いを伝える力や、将来へ向けた自立の力が身に付く学校
- ★聴覚や手話など自分に合ったコミュニケーション手段を学べる学校
- ★そして、誰もが持つ自分を認めてほしいという願いを応援する学校です。



香川県立聾学校

ことばの世界を広げ、子どもたちの夢を応援します



就学前段階

家族や友達と 通じ合えるためには

「ことばが増えない、はっきりしない」
「友達と楽しく遊べない」

様々な体験や人との関わりの中でことばが増えるこの時期、聴覚からの情報が十分に入りにくい、他者と楽しくやりとりすることが難しくがちです。

聾学校
幼稚園では

伝え合う喜びを体験

一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育てます。やりとりを楽しみながら豊かなことばへつなげていきます。



季節の行事を一緒に経験



日々の保育に加えて、季節の行事や昔ながらの遊び、日本の文化なども大切にしています。友達や大人と一緒に経験するなかで、いつもとは違う気付きや感動が生まれ、子どもの心を豊かにします。

豊かな体験活動

五感を使った様々な活動や遊びを、年間を通してたくさん経験します。心から楽しめる豊かな体験が、他者と一緒に過ごす心地よさや自分の力で頑張ろうとする気持ちを育みます。また3歳から5歳までの子どもたちが一緒に過ごすなかで、社会性も養います。



小学生段階

書き言葉でのやりとりが できるためには

「休み時間、友達との話が分からない」
「お話はたくさんできるのに、作文が書けない」
「抽象的なことばが分からない『9歳の壁』」

普段の生活では使わないことばが教科書に次々と出てきます。特に中学年になってくると抽象的なことばが分からない、思考力が停滞するなどの問題が、学習面ばかりでなく生活面でも起こりがちです。

聾学校
小学部では

系統的な言語力の育成



聴覚障害のある子どもの多くが助詞(を・で・に)や動詞の活用等が苦手です。そこで、新たな日本語文法の系統的な学習に取り組んでいます。自分の考えを書き表す力や教科書を読みとく力を育てます。

友達との活発な意見交換

自分の考えを発表し合ったり、掲示物を見ながら感想や意見を交わしたりする中でことばでのやりとりの力が育ちます。また、やりとりの中で相手の考えを想像したり、自分の考えを組み立てたりする思考力が育っていきます。対話を大切にしたい環境や授業を提供します。



生活を教科書のことばにつなげる

一人一人の言語力に合わせて、教科書や社会生活で使われることばを、学校生活全体の中で意識していかに指導します。「おはよう」と登校してから「さようなら」と下校するまでの間に、毎日多くの新しいことばに触れ、発見し、身に付けます。



中学生段階

学習内容や言語力を 身に付けるためには

「教科書に出てくる語句の意味が分からない」
「長文や問題の内容を理解しにくい」
「考えや意見を文章にするのが苦手」

学習する内容が大幅に増え、思春期を迎えるこの時期、言語力の不足から教科の学習についていけず、学力が伸びない、気持ちが不安定になるなどの問題が起こりがちです。

聾学校
中学部では

目で見えて分かる授業



ICT(タブレット端末、プレゼンテーションソフト等)、英語対応手話など、目で見えて分かる授業を行います。授業はことばの読み方や意味、使い方を確認しながら進めるので、言語力と学力が同時に向上します。また、地域の中学校で県下一斉テストと一緒に受け、弱点を克服しながら実力を伸ばします。

コミュニケーション能力の向上

授業前の時間を使って、個々の言語力に合わせて、幅広く言葉の学習に取り組み、コミュニケーション能力の向上を目指します。会話でのメモの取り方、質問の仕方、筆談の方法について学ぶと同時に、語彙力、作文力、伝え合う力を育成します。

生きる力、自立の力の育成

職場体験学習や交流および共同学習を通して、地域の事業所や近隣の中学校との交流を積極的に行い、卒業後の自分の姿を考え、社会で生きていくために自分に何が必要かを考える力(想像力、思考力)を養います。



高校生段階

卒業後の生活の不安を 取り除くためには

「自分の進路についてのイメージがもてない」
「進学に必要な学力がなかなか身に付かない」
「自分の思いをうまく伝えられない」

社会への出口であるこの時期は、進学に必要な学力や就職に必要な技能の習得が求められ、自分の将来像が描けないなどの問題が起こりがちです。

聾学校
高等部では

進路希望の実現



学校全体でキャリア教育を行いながら、高等部段階ではさらに社会に向けての自立をテーマに進路学習を進めていきます。大学見学、進路説明会や現場実習等を計画的に行い、生徒一人一人のニーズに合った進路実現を目指します。

一人一人の力を伸ばすカリキュラム

高等部では、2つの類型にそれぞれ複数のコースを設定し、国公立大学から福祉就労まで幅広い進路実現を目指せるようにしています。それぞれのコースでは、一人一人に合わせた丁寧な学習指導を行い、安心して学べる環境づくりに努めています。

コミュニケーションスキルの育成

授業においては、手話やICT等を用いて生徒が分かる授業を展開。理解力向上のため、しっかりとした情報保障を行います。また、状況に応じたコミュニケーション手段を使い分けたり、情報保障を依頼する力の向上を図ったり、交流学習や校外学習を通して、実際のコミュニケーションの場を体験し、スキルを高める取り組みを行ったりしています。



“聾学校でしかできないこと” があります

将来の自立のために必要なことを学びます

聾学校には「自立活動」という授業があります。一人一人が障害を肯定的に受けとめ、社会の中で誇りをもち、自立し、堂々と生きていくためのチカラを育てる授業を行います。

聞き取る力を育てるために

音遊びやことばの聞き取り学習、聴力測定を通して、補聴器や人工内耳を上手に使いながら、自分の聴覚を最大限に活用する力を育てます。

自分自身を見つめて

聞こえや障害について学び、自分の障害を肯定的にとらえ、周りの人に自分の考えを伝えたり、自分のことを説明したりする力を育てます。

絵日記指導



鏡を使った発音練習



ことばの習得を目指して

聴覚障害の子どもがつまずきやすい分野を中心に、手話や指文字、そして表情も大切にしながら、日常生活や学習に必要なことばの力の習得をめざします。

伝える力を育てるために

息あそびや鏡を使った発音の練習、ことばのリズムの学習を通して、相手に音声を使って伝える力を育てます。

自分の障害についての説明



日本手話学習会



県内全域の子どもたちが 学べるために

- 遠距離などの理由で通学が困難であったり、生活面での自立心を養ったりすることを目的として、敷地内に寄宿舎が設けられています。
- 集団生活を通して、発達段階に応じた生活習慣、自主性を養います。
- 自治活動や行事を通して、健全で明るく、情緒豊かな子どもへと育てます。



卒業生の声

私が聾学校に通って良かったことは、自分の聴力のことを周りの人が理解してくれて、その生徒に応じた対応をして下さったこと、また就職するための土台をしっかりと教えて下さったことです。

聾学校での一番の思い出は、高等部3年の全国聾学校卓球大会です。後輩たちが居てくれたおかげで、初めて全国大会団体戦に出場し、熱戦を繰り広げることができました。今でもうれしく思っています。「仲間の力・大切さ」を学ぶことができました。

社会に出て仕事を始めると、失敗や上手くいかないことも多々あります。その時には、今まで応援してくださった人のことを思い出して、今でも頑張っています。私にとっての聾学校は、卒業してからも宝物です。

(卒業生より)

ようこそ

0歳からの
相談を受け付けています

「きこえとことばの相談支援センター」へ

聞こえない、聞こえにくい子どもたちの成長を支援していくために、教育相談を行っています。

「かけがえのない宝」であるお子様とのスキンシップやコミュニケーションのとり方などの相談にもお答えしています。

じっくり
向き合っ

「外来教育相談」

Individual
Counseling
For Visitors

子育てや教育のことなどについて、じっくりと話を聞きます。

★0歳児からの乳幼児相談

聴力測定、補聴器や聞こえに関する相談

★小中高生の教育相談

ことばや発音・聞こえに関する相談、学習や進路についてのアドバイス

聴力測定



乳幼児相談



「通級による指導」

通常学級の中にいる、聴覚や言語に何らかの支援が必要な小中学生に、聾学校の教員が専門的な指導を行います。

通級による指導



みんなで
楽しく

交流学習

Exchange
Studies

同じ障害のある友だちがいることで、共感合えます。聾学校の教育活動と連携しながら、将来を見通した支援を行います。

★幼稚部 月1～2回(さんさん交流)

★小中高等部 授業体験日等で授業交流

★交流活動

(交流サマースクール、交流ウィンタースクール)

交流サマースクール



保護者の
みなさまへ

情報提供

For Further
Information

同じ障害のある子どもの親同士、担当者同士、日頃はなかなかできなかった話ができます。いろいろなヒントも得られます。

★講演会や相談会、座談会の実施

医療(補聴器や人工内耳)、福祉、進学、言語指導といった専門的な話を聞く機会を設けています。

保護者座談会



こんなことが気になった時は、すぐ相談を!

- 呼びかけやおもちゃの音に振り向かない。
- 新生児聴力検査で難聴が疑われた。
- 補聴器や人工内耳のことが知りたい。
- 発音や話し方が気になる。
- 幼稚園や保育所でうまく仲間に入れない。
- 学校の授業が聞き取りにくい。



一人で悩まないでご連絡を!

TEL 087-865-4492

FAX 087-868-1480

E-mail rogaku01@kagawa-edu.jp

申し込み

日時の予約

相談へ

相談は無料です 情報は厳守します

保護者の
皆様から

幼稚園では、30人に1人の先生なので聞こえていない時間もたくさんあり、ただ周りと一緒に流されていました。聾学校では、一人一人に必ず耳を傾けて聞ってくれるのでうれしいです。発音もこのびとでいき、自信にあふれているように思います。親子とも、ゆっくりとつきあってくれて感謝しています。
(幼稚園の保護者)

通級による指導では、普段使わない言葉や時事ニュースを学習し知識の広がりを感じます。子どもにとって、通級の先生とは気軽に相談できる関係が築けており嬉しく思います。また、交流会等の座談会では、同じ悩みをもつ保護者の方々と様々な話ができて勉強になります。

(小学生の保護者)



聾学校講座 Q&A

Some More Advantages of the School for the Deaf

Q

人工内耳や補聴器を使用して家庭生活では不自由を感じません。学校ではどうでしょうか。

A

人工内耳や補聴器を付けていても、小・中学校で必要なことが全て聞こえ、わかるわけではありません。1対1の会話がスムーズであったとしても班活動や集団活動を伴う学校での生活の中で、情報を得ることが難しい場合が多いようです。聾学校では、学校生活全体にわたり目で見てわかるように、声に加えて手話を使うなどの工夫をしています。また、聴力の低下や、補聴器や人工内耳の故障には、専門性のある職員(言語聴覚士など)を中心に対応しています。

Q

聾学校ではクラスの人数が少ないと聞いています。小・中学生は集団での学習が大切だと思いますが、どのような授業の工夫をしていますか。

A

人数が少ないことは、メリットでもあります。マン・ツー・マンに近い形で子どもの力を最大限伸ばせるよう他校ではできない工夫をしています。授業では子どもたちは積極的に発言し、自信をもちながら、確かな学力が身に付くよう努力していきます。集団での学習も大切なことから、学年をこえた合同授業を行っています。さらに、近隣の小中学校や居住地の小中学校との交流及び共同学習などを実施しています。聾学校では、卒業して何年たっても卒業生のことをなつかしく話す先生もおり、子ども一人一人を大切にしていることが実感できます。

Q

聾学校では手話だけで話すのですか。

A

手話や指文字とともに、子どもの聞こえに合わせた大きさの声で授業をしています。質問も遠慮せずにできます。さらに、ICT(タブレット端末やプレゼンテーションソフト等)といった最先端技術を研究し使用しています。子どもたちが、授業などで疎外感を感じることなく、安心して知りたい・学びたい気持ちをふくらませることができるような指導をしています。

Q

家の近くの学校に通っていますが、聾学校を見学して教育相談を受けたいと思います。どのような手続きが必要ですか。

また、聾学校への途中の学年からの転入は可能でしょうか。

A

まずは、電話等で聾学校にお申し込みください(TEL087-865-4492)。相談までの流れは、来校の日時を相談→見学・面談→教育相談開始となります。また、途中の学年からの転入も教育委員会の判断をいただければ可能です。

なお、幼稚園では「さんさん教室」を開いて、0歳児からの教育相談をしています。かけがえのないお子さんのことを話す中で、保護者の方の世界が広がり、ホッとできるかも知れません。

Q

将来は大学進学を希望していますが、聾学校高等部からの進学は可能でしょうか。また、大学入学後も勉強や生活など、心配なことがあります。

A

可能です。大学進学希望者向けに進学重点コースを設置しています。週33時間の授業に加えて、放課後や長期休業中の課外でフォローアップします。

また、大学進学後につまずきやすい情報保障などの合理的配慮についても、大学などからの情報収集や相談などを行っています。普通科総合コースでも、本人の希望により大学等への進学は可能です。

なお、就職希望者には、本人の希望や適性にあった就職を目指し、豊富なノウハウを活かしながら進路の実現に努めます。現在就職率100%です。

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

香川県立聾学校 〒761-8074 香川県高松市太田上町513番地1

TEL 087-865-4492 FAX 087-868-1480

E-mail rogaku01@kagawa-edu.jp URL <http://www.kagawa-edu.jp/rogaku01/index.html>



香川県立聾学校の
QRコード